

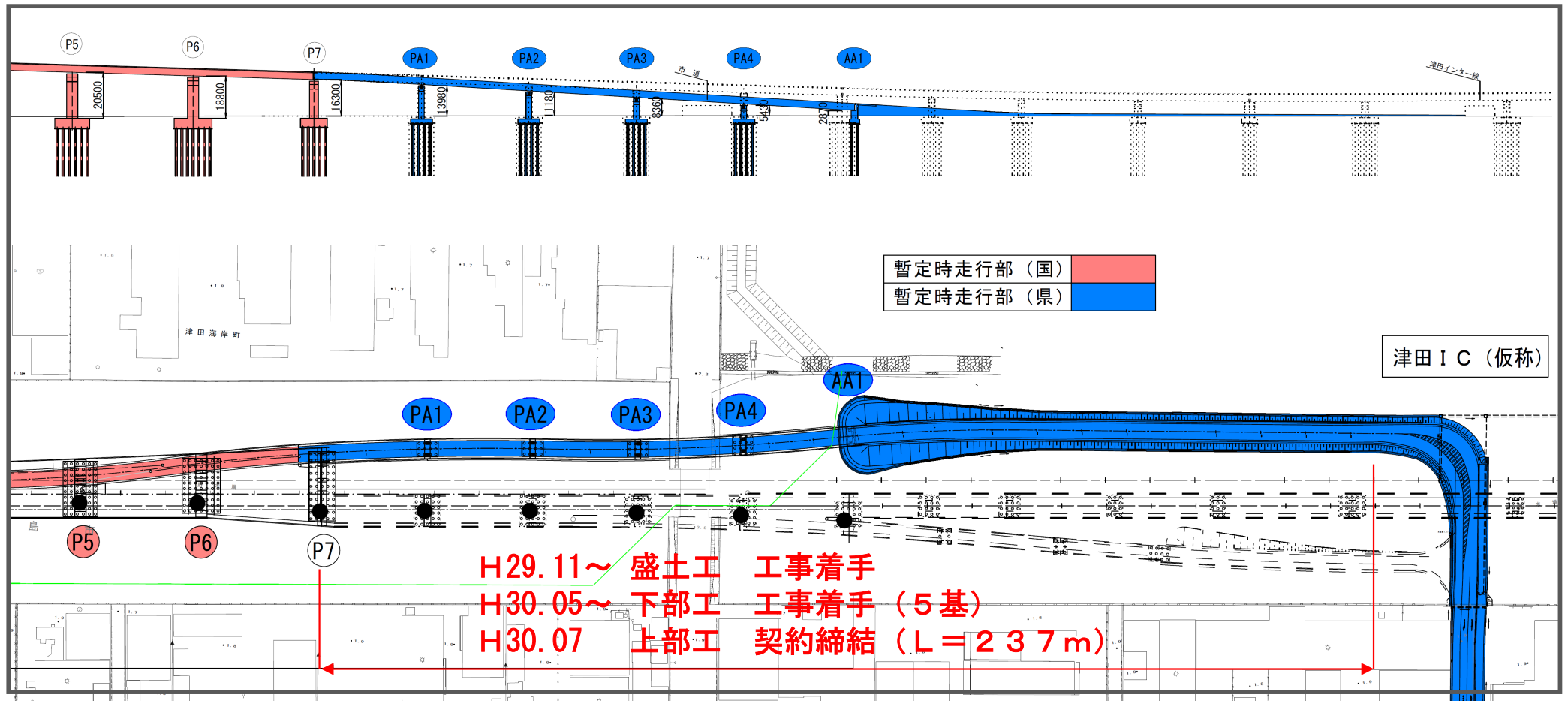
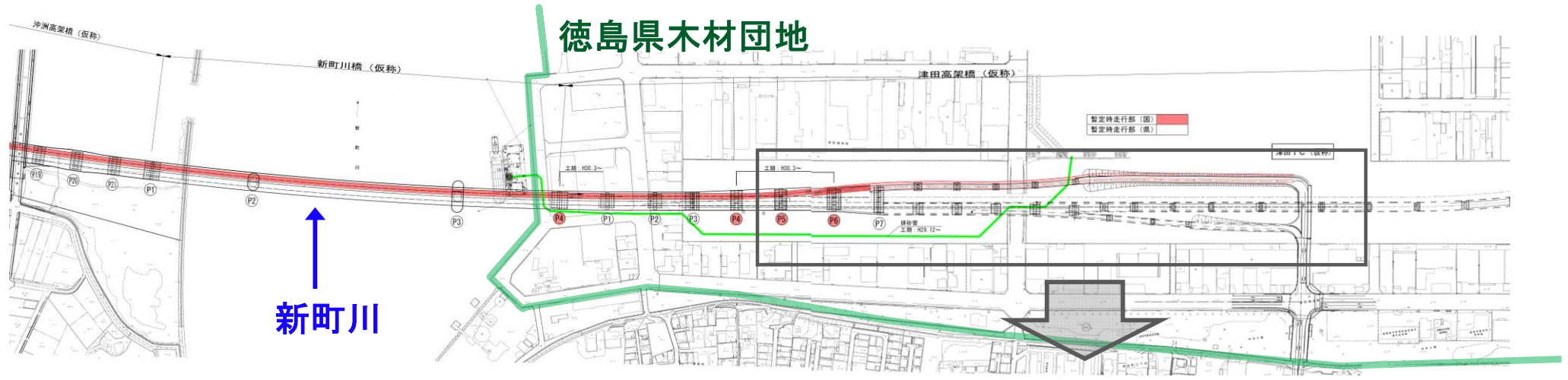
再評価【番号5】

一般県道 津田インター線  
津田工区

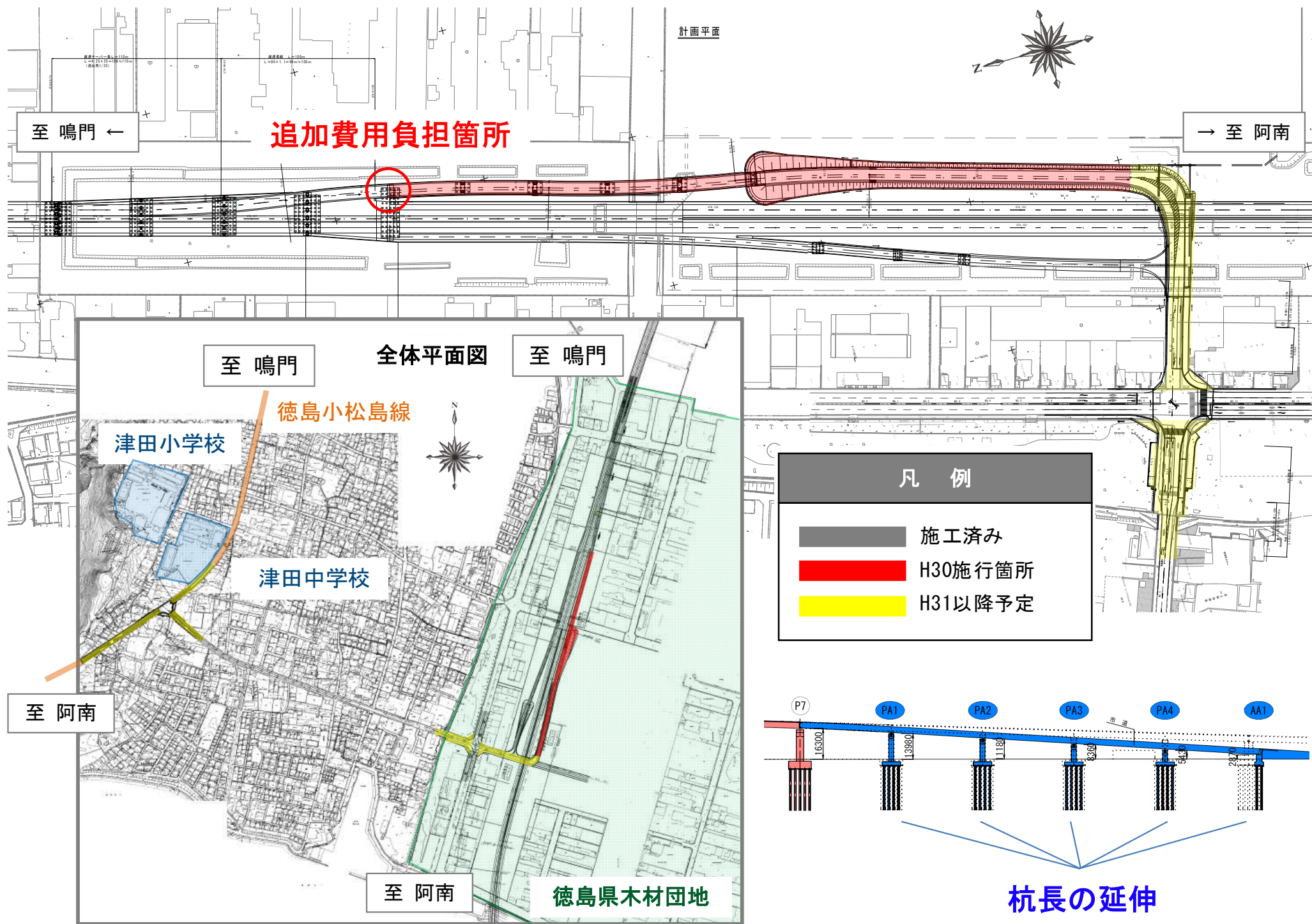




## 2. 事業の進捗状況



# 3. 全体事業費の変更理由





## 4. 道路整備による多様な効果①【活動圏域】

### ◎その他の便益



### 環境

- 騒音低減効果 1.0 億円
  - ・ **現道沿いの騒音の低減効果**が見込まれる。
- 地球環境の保全効果 0.5 億円
  - ・ **CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>の排出量が抑制**され、**大気汚染・温暖化防止効果**が見込まれる。

### 活動圏域

- 広域的な道路交通ネットワークの構築
  - ① アクセス性の強化
    - ・ **交通流の分散**が図られ、国道11号などの**混雑緩和**が期待される。
  - ② ネットワークの強化
    - ・ 徳島市街地と**県内全域の生活圏の連携強化**が図られる



社会活動圏域の拡大

## 5. 道路整備による多様な効果②【地域産業活性化】

### ◎その他の便益

#### 地域産業活性化

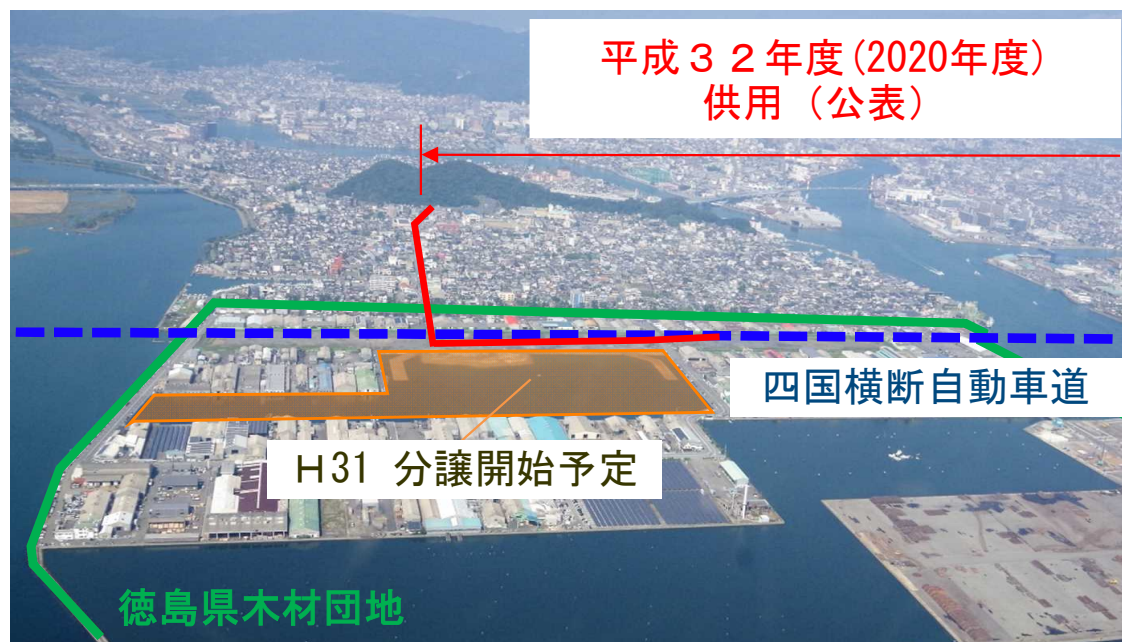
##### ■徳島県木材団地の「リノベーション」による経済活性化

###### ① 整備効果の早期発現

- ・ ICの「ランプ部」及びICアクセス道路となる「既存道路」を改良することにより、**四国横断自動車道と一体**となって整備効果を早期に発現させる。

###### ② 産業・流通拠点の創出

- ・ 木材団地として整備された「**重要港湾 徳島小松島港（津田地区）**」の活性化を支援し、当該地周辺に新たな産業・流通拠点を創出させる。



「陸・海・空」交通体系の発展

ストック効果の最大化

## 6. 事業評価結果

### 貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
  - ・ 走行経費減少便益
  - ・ 交通事故減少便益
- 計 **53.1億円**  
(現在価値化後)

### その他の便益

#### 環境

- ・ 騒音低減便益 1.0 億円
- ・ NO<sub>x</sub> 低減便益 0.2 億円
- ・ CO<sub>2</sub> 低減便益 0.3 億円

計 **1.5億円**  
(現在価値化後)

※費用C=29.4億円 (現在価値化後)

$$B/C = 1.8$$

(参考) その他の便益を含む  $B/C = 1.9$

### 貨幣価値に表れない整備効果

#### 活動圏域

- アクセシ性の強化  
⇒ 交通流の分散が図られ混雑緩和
- ネットワークの強化  
⇒ 県内全域の生活圏の連携強化

#### 地域産業活性化

- 整備効果の早期発現  
⇒ 四国横断自動車道と一体
- 産業・流通拠点の創出  
⇒ 重要港湾 徳島小松島港(津田地区)の活性化を支援

■ 今後の対応方針(案)

# 事業継続